

山梨大学新技術情報クラブ会員 各位

いつもお世話になっております。メルマガやクラブニュースが滞っております、誠に申し訳ござい

ません。山梨大学の還田でございます。

さて、いくつか情報がございますのでお送りいたします。

秋もひたひたと近づいてまいりまして、皆様には気温の急変でお体にきついことと思いま

す。わたしも、先週金曜日まで秋田の会議に出ておりまして、半そででは夜が寒い思いをしま

した。なにやら本日は熱っぽいかなというところです。

では以下よろしくお願ひします。

社会連携研究推進機構 社会連携知財管理センター 准教授・統括コーディネータ 還田  
隆

- 
1. 9月5日（金）はぜひベルクラシックへおいで下さい。
  2. 昨年度の実績から助成金等の予告をします
  3. 9月のAサロンの予告です
  4. 会員企業様をコーディネータで訪問いたします。
  5. 年末には合同交流会も考えております

- 
1. 9月5日（金）はぜひベルクラシックへおいで下さい。

パンフレットと基調講演のチラシを添付いたしました。

毎年この時期にホテルベルクラシックをお借りして、山梨県と山梨大学の保有シーズを  
中心に、一

部企業さんの産学連携取り組み等もご披露する目的で、研究発表等を実施しております。

本年度は、これらに加えて基調講演で、山梨県総合理工学部研究機構の小林総長にお話を  
いただきます。

主な内容は、山梨県の過去を振り返って良い技術などが県内にとどまってしまい、全国に

広がらな

かった事例を基に、同じ努力でもいかに最大の結果を得るかについてのお話をいただきます。

また、

研究発表に並行して開催するフォーラムに於きましては、「ものづくりと流通の活用で産業を活性化

する」元を主題にパネルディスカッションを予定しております。

登壇者につきましては、パンフレットをご覧くださいでしょうか。

ぜひ、会員の皆様にもご参集いただきまして、日ごろ気になっている技術や研究者にコンタクトなど

とられて、ぜひご自身の事業展開を活性化できますことを祈念しております。

事前申し込み方式ではありますが、当日の飛び込みでも結構でございます。

ぜひご来場ください。

---

## 2. 昨年度の実績から助成金等の予告をします

事前に準備を行うことが、助成金などを獲得する一番の手段と言われております。

公募が開始されてから、慌てて開発内容を整えたり研究者を探したりするのは、全く後手に回りま

して全国での共同に勝ち残ることは困難です。

そこで、10月で企業様が主に大学の支援などを受けて申請できる公募につきまして、予告をしたい

と思います。

あらかじめ申し上げますが、公募は実施されないこともお含みおきいただいたうえで、場合によって

は来年までを視野に入れた取り組みとしてご拝読頂けますと幸甚です。当たり外れありますことご寛

恕ください。

なお恐縮ですが、詳細は本学までお問い合わせいただくか、各HPでご確認頂けますでしょうか。

公募開始はWEBで開示されますので、そちらもご注意ください。

- (1) 平成25年度宇宙科学技術推進委託費 文部科学省 上限500万円
- (2) 第18回米百姓賞 (公) 長岡市米百姓財団 上限100万円
- (3) 第15回社会貢献基金助成 (社) 日本冠婚葬祭互助協会 上限100万円
- (4) 平成25年度助成金 (社) 濱口生化学振興財団 上限100万円程度
- (5) 平成25年度JST日本-MRC英国・研究交流事業 (独) 科学技術振興機構 3年間で1500万円
- (6) 平成25年度食品産業科学技術研究推進事業「緊急対応研究課題」 農林水産省 原則1年1000万円
- (7) ゼロエミッション石炭火力基盤技術次世代高効率石炭ガス化技術最適化調査研究 (独) 新エネルギー産業技術総合開発機構 2000万円以内
- (8) 米国における好伝達直流宮殿装置・データーセンター等連携システムにかかわる現状分析 (独) 新エネルギー産業技術総合開発機構 2000万円未満
- (9) 平成26年度前期国際交流助成 (公) 立石科学技術振興財団 1件40万円
- (10) 機能性化学材料の現状と中長期技術開発課題に関する調査 (独) 新エネルギー産業技術総合開発機構 1000万円以内

---

### 3. 9月のAサロンの予告です

第1回第2回とソフトウェア分野でAサロンを実施いたしましたが大変申し訳ない事にもなっております。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと陳謝いたします。

さて、このAサロン(アカデミックサロンの略)は毎月原則分野を変更しながら実施する予定です。

9月はものづくり系で検討しておりますして、未だ日時場所が未定であります、予告いたします。

時期 9月下旬16時から開始

場所(今までの実績) 第1回:甲府駅北口「風土」、第2回:山梨大学A3号館会議室

形態 どちらもほぼ同じですが、研究者から各2, 30分くらい話をいただいてその場で少々ディス

カッションをして、一通り終わった後は、どの場で簡単な食事と簡単な飲み物（アルコールあり・な

し両方）をいただきます。

1時間程度で狩猟しまして、雰囲気に乗った場合には研究者と2次会もあります。

詳細が固まりましたら、迅速にご連絡申し上げます。

---

4. 会員企業様をコーディネータで訪問いたします。

現状、会員企業様を訪問可能なコーディネータは4名おります。

皆得意分野が異なりますので、会員企業様よりご指名頂くと宜しいかと思えます。

- ・ 服部康弘 元東証一部上場／情報プリンター企業企画開発 主分野：無機・有機材料・システム

ム・エネルギー関連、ものづくり全般

- ・ 奥脇勝也 元本学修士課程卒 主分野：生命・食品。バイオ・医学一般

- ・ 最上修平 元東証一部上場／半導体製ラインなどの生産技術全般など

- ・ 還田隆 元地元店頭公開OA企業から特許流通アドバイザーを経て本学 主分野：上記3名以外

の分野全般・文系OK

一人でお伺いするかもしれませんが複数名かもしれませんが、内容に応じてと考えております。

---

5. 年末には合同交流会も考えております

皆様には本年度メールでしか情報提供しておらず心苦しいとことごとございます。

人数が減ってしまいましたが、やっと体制が立ち上がってまいりましたので、巻き返しをさせて頂く

所存です。

そこで、12月の中旬にできればと思うのですが、どのような形をお好みかお伺いしたいと思いま

す。忌憚ないご意見をいただけますと助かります。

たとえば、品質管理系のワークショップや、最近本学がプレスなどで取り上げられて有名になってお

ります、フリップとラーニング（アクティブラーニング）の体験などが思い浮かびます。もちろん従来からご紹介している、研究者とそのシーズについてもよいのですが、ご希望の分野などをいただけたほうがより効果的かと存じます。

では、よろしく申し上げます。

---

-----  
国立大学法人 山梨大学  
社会連携・研究支援機構  
社会連携・知財管理センター  
准教授／統括コーディネーター  
還田 隆  
tkanda@yamanashi.ac.jp  
電話 055-220-8758  
FAX 055-220-8757  
-----